

自立活動 授業デザイン

日 時：平成25年12月6日（金）第3校時（10時40分～11時30分）
 学 年：中学部 1年
 授業場所：本校 中学部1年教室

1. 単元（題材）名
 コミュニケーションスキルの形成「上手に聞く」－話し手が話しやすい聞き方－
2. 単元（題材）の目標
 - （1）聞き手の聞く姿勢が話し手に与える影響を知る。自分の聞く態度を考える。
 - （2）話し手が話しやすい聞き方の体験を通して、聞くスキルの向上につなげる。
3. 単元（題材）の指導計画

時	主な学習活動・内容	主な使用機器
第1時	話を聞くときの態度が、いかに他の人に影響を与えるかを知る。	IWB
第2時	「話し手が話しやすい聞き方」の3つの重要なポイントを知り、聞き上手の練習をする。（本時2/2）	IWB, TPC TV会議システム

4. 本時の目標
 - （1）話し手が話しやすい聞き方のポイントを知る。
 - （2）ポイントを意識して聞く体験をし、聞くスキルを身につける。

5. 本時の情報通信技術（ICT）活用

活用する場面	・導入 ・展開
活用する者〔目的〕	・生徒 TPC〔意見の共有, 確認〕 ・指導者 IWB〔コンテンツ提示〕 TV会議システム〔ロールプレイ〕
活用するコンテンツ	・自作コンテンツ ・コラボノート
活用する機器	・IWB, TPC, TV会議システム

6. 本時の展開

	学 習 活 動	活用機器 (活用者)	指導上の留意点・支援内容 【ICTによる支援】
導 入	<p>一斉学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいを知る。 	IWB	<p>本時のねらい『「話し手が話しやすい聞き方」のスキルを学び、練習する。』 前時の話し手が話す自信をなくすような聞き方を確認し、本時は話し手にとって話しやすい聞き方を学ぶことを確認する。</p> <p>【TV会議システムを使って映像ありで話す、音声のみで話す、の2パターンを行うことで、相づちやうなずきなどの大事さがわかりやすくなるように支援する。】</p> <p>【ロールプレイを見ながら、よいと思った動作や態度をコラボノートに書き込ませておき、ロールプレイが終わったらすぐに共有できるようにする。】</p>
展 開	<ul style="list-style-type: none"> 「話し手が話しやすい聞き方」のロールプレイをし、動作や態度を観察する。音声のみ、映像つきの2回見る。 話し手が話しやすい聞き方の動作や態度を確認する。 	TV会議システム	
	<ul style="list-style-type: none"> 聞き上手になるための3つのポイントを知る。 	TPC	
	<ul style="list-style-type: none"> 聞き上手になるための3つのポイントを知る。 	IWB	
ま と め	<p>協働学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 「話し手が話しやすい聞き方」スキルの練習をする。 <p>一斉学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 今日のまとめをワークシートで振り返る。 		<p>3つのポイント</p> <ol style="list-style-type: none"> ①意識を集中しよう。 ②内容を理解しよう。 ③相手の話を引き出そう。 <p>【具体的な態度や行動をIWBで掲示する。】</p> <p>話し手、聞き手、観察係の3つの役割を決める。役割は交替していく。観察係は、聞き手が上手に聞いているかを見て、話が終わったら聞き手によかったところを伝える。</p>

7. 本時の評価（評価の観点・観点別の評価を含む）

- (1) 話し手が話しやすい聞き方のポイントを理解したか。
- (2) ポイントを意識して聞く体験をし、スキルを身につけようと取り組んだか。

8. 準備物

ワークシート、IWB、TV会議システム、自作コンテンツ、TPC